

2015年6月吉日

各位

薬害根絶デー実行委員会

東京都新宿区新宿1-19-7

新花ビル6階 オアシス法律事務所内

TEL:03-5363-0138 FAX:03-5363-0139

担当：弁護士 晴被 雄太

(はれまき ゆうた)

薬害根絶デーへのご支援のお礼と支援のお願い

謹啓 貴団体におかれてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年は、薬害根絶デーに、カンパ等のご支援をいただきまして誠にありがとうございました。

昨年8月25日に行われた薬害根絶デーは、薬被連(全国薬害被害者団体連絡協議会)と厚生労働省・文部科学省との交渉と平行して、厚生労働省前での薬害被害者と中心としたリレートーク、薬被連の碑の前行動、集会、ワークショップ、銀座マリオン前宣伝を行い、無事、諸取り組みが終了しました。碑の前行動では、田村憲久厚生労働大臣(当時)が出席し薬害根絶に向けた決意を述べ、集会では、HPV(子宮頸がん)ワクチン被害をメインテーマとし、ワークショップでは、薬害被害者の方々の生の声を聴く機会を得ました。

リレートークから集会までは200~300名、マリオン前宣伝も100名を超える方々にご参加くださいました。これだけの参加者が集まったのも、皆様のこれまでのご支援の賜物です。誠にありがとうございます。また、当日ご参加下さいました皆様、改めてお礼申し上げます。ご報告が大変遅くなってしまったことを深くお詫び申し上げます。

本年も、薬害根絶デー(本年は8月24日(月))に向けた取り組みを企画しています。

一昨年6月、副反応報告が多く寄せられたことを端緒に接種勧奨が中止されたHPVワクチンについて、本年3月30日、全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会が、厚生労働省及び製薬会社に対し、原因を究明するための第三者機関の設置や治療支援の充実、医療費の無償化などを求める要求書を提出し、同時に薬害対策弁護士連絡会も、ワクチン副反応被害に関する意見書をまとめました。被害者の要求が早急に実現するよう、厚生労働省及び製薬会社に働きかけていく必要があります。

そのため、今年の集会でも、HPVワクチンをテーマの一つとし、さらにサリドマイドについても取り上げることで、繰り返されてきた薬害の連鎖を断ち切るためにどうすればよいのかを参加者の皆様と考えていくような内容にしようと考えております。

長年の願いである薬害被害救済・再発防止のためには、薬害根絶デーへの多くの方々の結集が不可欠です。

つきましては、貴団体におかれましては、

- 1 薬害根絶デー実行委員会(いずれも18時30分~新宿区新宿2-1-3 サニーシティ新宿御苑10階・スモン公害センター)にご参加下さい
6月19日(金) 7月27日(月) 8月5日(水)

2 薬害根絶デー（2015年8月24日（月））当日の企画にご参加下さい
スケジュールは別紙チラシを参照ください。

3 薬害根絶デー実行委員会にカンパ（1口5,000円）をお願いします

〔カンパ口座〕東京都民銀行、東新宿支店、普通、4033589

薬害根絶デー実行委員会会計 中川素充

（やくがいこんぜつでーじっこういいんかいかいけいなかがわもとみつ）

★できるだけ、複数口のカンパをお願いいたします。

なにとぞ、ご支援、ご協力をお願いいたします。

敬白

最新の情報は、Facebook ページをご覧ください

<https://www.facebook.com/YaoHaiGenJuedeShiXingWeiYuanHui?ref=hl>

チラシは下記からダウンロードしてご利用ください。

薬害根絶デー書庫 <http://www.gaiki.net/yakugai/ykd/>